

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一般国道191号 道路災害防除事業に伴う業務委託（落石対策）

事業名 または 工事名 一般国道191号 道路災害防除事業に伴う業務委託（落石対策）

調査目的及び調査対象 道路 橋梁・高架

ボーリング名 No. 1		調査位置 広島県山県郡北広島町戸谷地内		北緯 34° 38' 27.193"	
発注機関 広島県西部建設事務所安芸太田支所			調査期間 2020年 10月 28日 ~ 2020年 10月 30日		東経 132° 21' 47.011"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア確定者
ボーリング責任者		試験機 東邦D-1		エンジン ヤンマーNFD-12	
ポンプ 東邦BG-3		使用機種		鉛直 90° 13°	
孔口標高 T.P. 303.40m		角 度 180° 上下 0° 90°		方位 北 0° 270° 西 180° 南 90° 東	
総削孔長 6.00m		地盤勾配		使用機種	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試験採取番号	室原位置試験	削孔月日
												N値	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量			
0	303.40	0.40	砂質礫	砂質礫	淡褐灰	rd1				表面5cm、コンクリート。径5~50mmの礫と粗砂。上部空隙あり。	0/29 3.12	1.15	1	2	5	300	P-1	○	
1	301.60	1.80	砂礫	砂礫	暗褐灰	rd3				径10~20mmの礫と粗砂からなる砂礫。深度0.45~0.60m間、縦質主石。層上部は円礫が多く礫種は比較的雑多。		1.45	3	4	10	300	P-2	○	
2	300.70	2.70	粘土泥じり砂礫	粘土泥じり砂礫	暗青褐					径10mm未満の安山岩岩片が主体。粘土分を少量含有し、崩積土状を呈する。		2.45	32	18	50	140	P-3	○	
3												3.00	40	50	0				
4										安山岩の破砕部（軟岩）。岩片状コア主体。岩片は比較的硬質であるが、傾斜60~70°の割れ目が発達。割れ目沿いは著しく破砕され、部分的に粘土化している。		3.14	50	0	50	0			
5												4.00	50	0	50	0			
6	297.40	6.00										5.00	50	0	50	0			
7												5.00	50	0	50	0			
8												5.00	50	0	50	0			
9												5.00	50	0	50	0			
10												5.00	50	0	50	0			
11												5.00	50	0	50	0			
12												5.00	50	0	50	0			
13												5.00	50	0	50	0			
14												5.00	50	0	50	0			